

2020年8月25日

香川大学医学部附属病院に、過去に通院・入院された患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 悪性腫瘍の組織を用いた病理組織学的な予後因子の検討

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 香川大学医学部附属病院病理診断科 医員 伊吹英美

[研究の目的] 悪性腫瘍は誰にでも、全身どの臓器にも発生する可能性があります。昨今の医学研究により新たな治療法が確立され、予後が改善しつつある悪性腫瘍が存在する一方、依然として悪性腫瘍は死因の1位となっています。本研究では、病理検査で採取された組織を用いて、悪性腫瘍の病理組織学的な特徴や腫瘍免疫システムを検討することにより、より良い治療法に繋がる予後因子の発見を目指します。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

1999年1月1日～2020年12月31日の間に、香川大学医学部附属病院で悪性腫瘍の病理検査を受けられた患者さん

○利用する検体・診療情報

検体：病理検査で採取された組織

診療情報：悪性腫瘍の診断を受けた時点、あるいは外科的治療を受けた時点での背景(年齢、性別、既往歴、治療法、治療の副作用や合併症、病期、血液検査所見、画像所見、病理所見など)、腫瘍の再発や増悪の有無、最終の経過観察日での死亡の有無。

[外部への検体・診療情報の提供]

なし

[外部からの検体・診療情報の提供]

なし

[研究分担者]

香川大学医学部附属病院	病理診断科	講師	門田球一
香川大学医学部附属病院	病理診断科	医員	井上耕佑
香川大学医学部附属病院	病理診断科	医員	木村なちの
香川大学医学部附属病院	消化器外科	准教授	岡野圭一
香川大学医学部附属病院	消化器外科	教授	鈴木康之
香川大学医学部附属病院	病理診断科	病院教授	羽場礼次

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院病理診断科 担当医師 伊吹英美

電話 087-891-2305